

CHIHO MEN NEWS WAKAYAMA 起業家支援

たなべ未来創造塾との連携
～継続した支援で真の地域のパートナーへ～



(1/23 田辺市での創業間もない起業家と金融機関との意見交換会)



近畿財務局
和歌山財務事務所



和歌山財務事務所では、地域における起業や第二創業、新たなビジネスモデルの創出を支援するため平成29年度から、田辺市が推進する「たなべ未来創造塾」の取組を支援しており、今年度においても継続して支援してまいりました。

「たなべ未来創造塾」は、地域課題の解決や地域資源の活用に資する「人材育成」と「ビジネスモデル創出」等を目的に地方創生の一環として田辺市と富山大学地域連携推進機構により28年度に創設されました。日本政策金融公庫が連携機関として参画しているほか、紀陽銀行、きのくに信用金庫、第三銀行が協力機関となり、また、近畿財務局和歌山財務事務所、田辺商工会議所、各商工会が後援機関として支援することにより、「産官学金」一体の支援体制が構築されています。

今回は、継続支援のなかで和歌山財務事務所が今年度に取り組んだ内容について、ご紹介させていただきます。

1. 第3期生 開講式 平成30年7月28日

「たなべ未来創造塾」は、30年度で第3期目にあたり、平成30年7月28日に第3期生の開講式が開催されました。

開講式では、主催者である田辺市長、富山大学長の挨拶に続き、**和歌山財務事務所長が来賓挨拶を行い、11名の塾生達に熱いエールを送りました。**

その後、オリエンテーションと第3期生の自己紹介を経て、開講式に出席した第1・2期生から体験談等が語られました。



(開講式)



(花田和歌山財務事務所長)

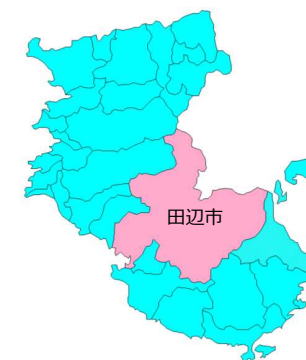


(オリエンテーション)

塾生たちは31年2月の修了式までに、富山大学の金岡教授や田辺市の実情に合った市内外の専門家等による講義を受けるほか、ワークショップなどの演習や、塾生同士のディスカッションを通じて、**塾生自らが地域課題と企業課題の接点を見出し、本業を活かしてできるビジネスモデルを創出していきます。**

たなべ未来創造塾の創設背景と現状

- 田辺市は、世界遺産「熊野古道」や世界農業遺産をはじめとする多くの地域資源に恵まれる一方、人口減少、少子高齢化による、空き家や空き店舗の増加、地域の担い手不足など多くの地域課題を抱えている。
- 平成28年度にたなべ未来創造塾が創設されて以降、田辺市では多くの新たなビジネスが生まれており、たなべ未来創造塾の取組は地域活性化の成功例として、まち・ひと・しごと創生本部など、全国的にも注目されている。



2. 創業間もない起業家(塾生)を訪問し、現在の「悩み」、「課題」等をヒアリング

たなべ未来創造塾を支援するにあたって、**今年度の新たな取組として、ちほめんによる、たなべ未来創造塾を卒業した第1・2期生のうち、既に起業された方9人に対するヒアリングを実施し、現在抱える「悩み」、「課題」や金融機関に「是非とも聞いてみたい」ことを聴取しました。**



(事例：10/9に起業家(育林業)を訪問)

その上で、ヒアリングで浮き彫りとなった、**創業間もない起業家が抱える課題等を題材として、起業家が直接、金融機関の担当者と意見交換できる場を設けることとしました。**

ヒアリングで聞かれた声

- ◆自分たちが普段接することができない金融機関の本部の方から直接、創業間もない企業に融資を行う際の重点的な審査のポイント等について話を聞いてみたい。
- ◆融資の可否判断をスムーズに得るために、企業が気を付けたらよい点、工夫したらよい点などを教えてほしい。
- ◆販路開拓や人材確保など、創業間もない企業には経営課題や悩みも多いが、金融機関は融資以外の相談にも乗ってくれるのか。

3. 創業間もない起業家と金融機関との意見交換会(主催:和歌山財務事務所)を平成31年1月に田辺市で開催

31年1月23日に、**田辺市の創業間もない起業家と金融機関担当者との意見交換会を開催しました。**

意見交換会には、金融機関の田辺支店長以外に、本部から融資担当者をお招きし、融資審査におけるポイントなどについて、回答いただきました。



(起業家)

・たなべ未来創造塾の卒業生を中心とする
創業間もない起業家の皆さん



(金融機関)

・紀陽銀行 田辺支店、融資部、営業支援部
・きのくに信用金庫 田辺支店、融資部、人事部
・日本政策金融公庫 田辺支店

<意見交換会の一部内容>



起業家

融資審査をするにあたり、審査ポイントや重視していることを教えてください。

創業経緯・動機です。創業経緯・動機は、後に経営理念や経営方針となります。また、経営者の事業に対する熱い思いは、金融機関が融資を判断する重要なポイントとなります。

事業の実現可能性、借入の返済可能性です。事業者から事業の目標数値等を説明して欲しいと思います。また、経営者の人間性も融資審査にあたっては重視しています。



金融機関



金融機関



起業家

融資審査時に事業計画や提出資料を説明するにあたって、どのような工夫をすればよいですか。

事業計画の実現可能性を十分に説明することが重要であり、例えば、同業他社の事例を用いて数値を出す等、具体的な根拠を示していただければ説得力が増します。



金融機関

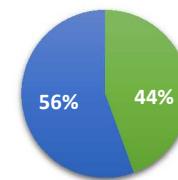
事業概要やビジネスモデルについて、図や表を用いた、わかり易い説明が重要です。例えば、加工業者の場合は、原料の仕入元、販売先を踏まえた利益見込や自社の強み・弱みなどを説明して欲しいと思います。



金融機関

上記発言はほんの一例ですが、**予め起業家の関心事項を金融機関に伝えていたことなどから、限られた意見交換時間にもかかわらず、活発かつ本質的な意見交換が効率的に行われ、アンケート結果のとおり、大変好意的な回答をいただきました。**

アンケート結果



■非常に良かった ■良かった

アンケートでいただいた感想

- ◆普段接する機会のない金融機関の本部の方と話ができてよかった。
- ◆融資を受けるコツについて理解することができた。
- ◆融資審査をするに当たって、業況や担保だけでなく、**経営者の人格・熱意を重視**していると聞いて安心した。
- ◆金融機関は「**地域のコンサル**」なんだと感じた。

4. 第3期生 修了式 平成31年2月9日

平成31年2月9日に第3期生の修了式が開催されました。

修了式では、第3期生が自ら作り上げたビジネスプランについて、1人3分の時間内で事業内容などを発表するプレゼンテーションが行われました。

プレゼン後には、塾生たちがビジネスプランを1枚にまとめたポスターの前に立ち、来場者向けに個別に説明をする「ポスターセッション」が行われました。（なお、ポスターは次頁以降に掲載しています。）

塾生は、来場者からの質問に個別に答えるとともに、アドバイスにも耳を傾けていました。また、自らのビジネスプランに対する来場者の反応に手ごたえを感じている様子でした。

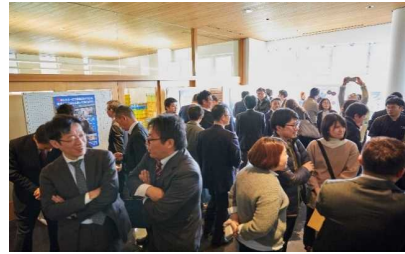


（修了証書の授与）

その後、座談会が開かれ、田辺市長、富山大学副学長、和歌山財務事務所長と塾生等の間で、「田辺の未来を創る力とは」をテーマに意見交換が行われました。



（プレゼンテーション）



（ポスターセッション）

ポスターセッション後には、田辺市長から修了証書の授与がありました。塾生たちは、この1年間のそれぞれの思いをかみしめて修了証書を受け取っていました。



（座談会）

和歌山財務事務所では、今年度も「たなべ未来創造塾」の取組を陰ながら支援してきました。その中で、「地域において地方創生の取組に深く関わっていくためには、**地域の方々とは度々顔を合わせたうえで、継続した関係を築いていくことが大切**」ということを感じ取ることができました。

来年度以降も、和歌山財務事務所は引き続き「たなべ未来創造塾」を支援してまいります。

本企画担当ちほめん：久富・浦山
サポート：井上理財課長、花田所長

たなべ未来創造塾第3期生の考えたビジネスプラン

①サイクリングでツナガル人の輪 —サイクリストが集う街へ—



②釣り人が集う酒場「なじみ」 —魚の持ち込み・買い取りサービス—



③Premium Ice GORON —地域の可能性を外へ発信・ 生産者と消費者を「つなぐ」—



④子育てママ応援コミュニティ —子育てママに寄り添うauショッパー—



食で育む
コミュニティ

レストランが
地域にできること

KOKAGE 料理研究会

地元の生産者や土着食材の地産会
季節の野菜や果実を使った料理教室
親子で参加できる食育イベント

**KOKAGE にしかない
食育コミュニティ**

- ▶ ママたちが生き生きと、活気のある地域に
- ▶ ママたちが自身の魅力を発信
- ▶ 子育て世代が田舎での子育てに希望が生まれる

子育て共助定例

人口減少の歯止めに

MAMA
×
KOKAGE

KOKAGE
食育コミュニティ
食育・食文化のまちづくり
食の安全・安心を推進する

「食」への思い
すべての料理に地産の食材を使いたい
生産者の思いを伝えたい
安全・安全な料理を提供したい

ベーカーリーストラン KOKAGE
林 拓郎

小さな拠点 はつやま横丁

地域課題

- ①人口減少
- ②地域の小売業の減少

自社課題

- ③所有物件が空き家だらけ

ランチ営業

地域の高齢者や
集中で仕事も通電している人たちが
気軽に集まれる場所にて

居酒屋営業

地域の少年代が集まる場所
観光客と地元住民の両方に受ける場所
地元特産の酒類を扱う「蔵元」の役割

※ 蔵元の酒類上にて売致

地域の雇用が生まれる

今までにないものができて、**雇われ**が増す
雇われがあれば**交流**が生まれる

課題解決

はつやま鮮魚店

[illegible][illegible][illegible]

職人の懸け橋

(カッコいい職人を目指して)

企業課題

大きなクライアントである
建設業からの仕事が減少

地域課題

田辺市の基幹産業である
建設業の職人の高齢化
若者に建設業は選ばれにくい

職人の高齢化・若手が育たない
建設業の課題を解決する事で
自分たちの未来につなげる

職人 建設コミュニティ 若者

つなげるを目的
仕事のシェア

新しい仕事につなげる
雇用率の低下

若者に建設業を
楽しんでもらえる

職人育成
事業

選ばれる仕事を目指して
地域全体で職人を育てていく
つながる事で新たな仕事に

紀乃園工務社 山中 剛典

梅产地だからこそできる、一步踏み込んだコラボレーション

「鰻と梅の仲直りプロジェクト」

梅(自)の課題

- 価格競争 / 専売店に価格に左右される
- 産者の減少・若者の離れなど
- 産地が遠いという課題など
- 夏の賞賛以外をどう盛り込むか

梅(地域)の課題

- 都心で価格が上がってしまう
- 産者の増えれば
- 産地価格が変動してしまう

両方の課題を解決するために：

新製品のコラボその1

料理師と梅の産地・瀬田のつくる「紀州南高梅ひつまろし」

1. 梅を洗って塩を落とす
2. 梅を洗って塩を落とす
3. 梅を洗って塩を落とす
4. 梅を洗って塩を落とす
5. 梅を洗って塩を落とす

梅を洗って塩を落とす

梅を洗って塩を落とす

梅を洗って塩を落とす

梅を洗って塩を落とす

梅を洗って塩を落とす

新製品のコラボその2

鰻の骨を使った「鰻の肥料」

鰻の骨を肥料として使った鰻の肥料

鰻の骨を肥料として使った鰻の肥料

鰻の骨を肥料として使った鰻の肥料

鰻の骨を肥料として使った鰻の肥料

新製品のコラボその3

紀州南高梅チップで鰻の焼直し

紀州南高梅チップで鰻の焼直し

紀州南高梅チップで鰻の焼直し

紀州南高梅チップで鰻の焼直し

紀州南高梅チップで鰻の焼直し

新製品のコラボその4

紀州南高梅チップで鰻の焼直し

紀州南高梅チップで鰻の焼直し

紀州南高梅チップで鰻の焼直し

紀州南高梅チップで鰻の焼直し

紀州南高梅チップで鰻の焼直し

今後とも企業課題から考え、かわかり合う事で「地域の課題を解決する産屋」を目指します！

梅(自)の課題

梅(地域)の課題

梅(自)の課題

梅(地域)の課題

皆様1年間本当にお疲れさまでした。